

# 寺報

No.603

平成29年11月

蓮華寺  
行

## 御聖訓

悪知識と申すは甘くかたらひ詐り、媚言巧みにして愚痴の人の心を取て善心を破るといふ事なり。

『唱法華題目鈔』



### (解 説)

現代人は、他の人々の為に施しをするという大切な事を忘れてしまったのでしようか。

偽装の表示から始まり、偽装の報告・検査など、いまだ止まる事なく次々と偽装が発覚しています。

ともかく売りさえすれば、もうけさえすれば、多少ごまかしてもいいという生産者、彼等には「購入して戴いた」という消費者に対する感謝の心が、ひとつとして見えてきません。

また、消費者である我々も「して戴いた」という感謝の気持ちがないようです。

お釈迦様は法華経の教えは真実であり、ウソ偽りはありませんとお教えになりました。

『ウソも方便』という言葉がありますが、これは全く違う意味を持ちます。

ウソは、他人やまた自分までもだましていく事であり、方便とは我々を真実の世界に導いていく為に用いる手立てをいうのです。

法華経・お題目の信仰をする者は、常に感謝の心を持ち、ウソ偽りのない人生を送りたいものです。

# 檀信徒研修会のお知らせ

## 十一月二十五日(土)

### 聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

\*『聖典の読誦(二十五分) 唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂(お通夜の場合変更)

持参品・・・聖典(お経本・・・事務所にて)、数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃

さずお経とお題目を唱え、頑張つて参加して下さい。

お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めを

しましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱

えてみて下さい。

\*自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・

当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝み

ましょう。

⑨足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

### 今年度最後の研修会です。

# 『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈禱を行っております。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・・・平成二十三年生れの女兒

◎五歳・・・平成二十五年生れの男児

◎三歳・・・平成二十七年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年齢」でも構

いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、

日蓮宗のご祈禱をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札きぶた」「千歳飴」「干支

のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでど

うかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

す。



# 「喜寿を祝う会」 & 「交流会」

## 開催のお知らせ

今年、教宣部員でめでたく喜寿(数え七十七歳)を

迎えました皆さんの祝賀会を開催します。

合わせまして部員相互の懇親を深めます交流会も開催

したいと思います。

当日は、お寺側より住職始め各お上人様・総代・護持

会役員の皆様を交えまして、楽しい一時を過ごしたい

と思いますので部員の方はもちろん一般檀信徒の皆様

もどしどしお申込み下さい。

記

日時・・・十一月十八日(土)

午後六時より

会場・・・アップルパレス青森

本町5-1-5

会費・・・五千元【八日〆切】

詳細は事務所まで!

今回の喜寿の方

「小野 豊秀」さん

「吉崎 清三」さん

# 懺悔文を読みましょう!

懺悔ざんげとは懺悔滅罪の事を言い、いわゆる自らの罪を

滅し、心から反省して、我々本来の仏の心に戻すとい

う意味です。

我々がこの世に生を受けて以来、現在に至る迄、全く

罪を犯した事がないという人はいないでしょう。

皆様がお使いの聖典(お教本)の『懺悔文』の中にあ

る罪には、どんな方でも関わりあいがあるはずで

よく「一生懸命祈っているのに願いが叶わない」など

といっている人に限って、自らの懺悔という事を忘れ

ているのです。

我々は現在の罪だけでなく、過去からの前世、また先

祖からの罪も受け継いでいるのです。

その点を良く考えてみますと、大罪・小罪に関わらず

自らが懺悔滅罪を実行していく事が大切なのです。

特にお寺の御寶前で、諸天善神に守られながら、朝の

お勤めで、更に毎月一日の盛運祈願会の中で、どうか

懺悔文と法華経、そしてお題目の力で因縁罪障を消滅

しようではありませんか。

### 『魂入れ』『魂抜き』

「入魂・抜魂」「開眼・閉眼」ともいいます。

日蓮大聖人は「されば画像、木像の仏の開眼供養は法華經に限るべし、この画木に魂魄と申す神（たましい）を入れる事は法華經の力なり」と教えています。

つまり、昔より日蓮宗では仏像や神仏の掛け軸などの新調、修復のみならず、仏閣・仏具はもとより、仏壇・仏具・墓石・刀剣・印鑑などに至るまで、善神を呼び寄せ悪神を退散させ、法華經・お題目のお力によつて魂入れを行つてきたのです。

これも、ひとえに皆様の生命と生活の安全を護る為に現在にまで受け継がれてきました。

「魂入れ」とは、新しく出来上がった『もの』の使命を最高に發揮して戴くようにとお願ひし、またそれを大切にしていふ事で、除災得幸になる事を祈る儀式といえます。

この「魂入れ」の方法には、我が宗でもさまざまな伝承形式がありますが、法華經・お題目による誦誦・祈念が最高の効用を發揮する事を忘れてはいけません。

また、「魂抜き」はその役目を終えた『もの』の【魂】

を永遠に抜き、今までお世話になりましたという報恩感謝の気持ちを残す儀式をいいます。

これには、仏像や掛軸だけでなく、その人が大事にしてきた人形なども含まれます。

更に「魂抜き」には、仏像や掛軸を修復する為に、一時的に【魂】を抜き、神仏に休息してもらい、その後完成したのもう一度【魂】を入れ直す事も出来ません。

当山では、皆様からお預かりしました『もの』を、朝のお勤めの中に入魂・抜魂しますが、特別にご祈禱を依頼し、信者と共に行う事も出来ますので、どうか、お寺にご相談下さい。

### 『提灯』の募集！

「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」に下げます『提灯』（トローラー）を限定で一個募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

### ◎日蓮大聖人

#### 聖語カレンダー 《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日（日蓮宗で重要な日）も出ております。

#### ◎平成三十年度「暦」

一部・・・一五〇円

### ☆靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

靈断と『靈』の字がありますが、靈を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千円です】必ずご予約をお願いします。 ☎776-5840

### 『位牌壇』募集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡りご供養されていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合は、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数（最長三十六回）はご相談下さい。

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

# 日蓮大聖人と大黒様

日蓮大聖人は、大黒様の信仰の大切さをお弟子に勧めております。

「あなたがもし家に大黒様をお祀りし、一生懸命法華経・お題目を以て供養し信仰したならば、日々安樂にすごされるし、また諸願が成就し、更に現世安穩・後生善処の樂を得る事が出来るだろう」と教えられました。

以来、大黒様は日蓮宗の守護神として各寺院や檀信徒の家にお祀りされるようになりました。

特に「日蓮宗大荒行堂」の第参行では、『大黒相承』という秘伝の奥義が相伝されるなど、大黒天信仰の大切さが今も受け継がれてきています。

どうか檀信徒の皆様も、大聖人が勧められます大黒様を家にお祀りし、守護神として法華経・お題目をもつて祈念し、家内の安全を守ってもらえるようにしましょう。

また、家に祀られていても、ホコリをかぶつたままで忘れられている大黒様は、必ずお寺に持参して一年の垢を落とすようにしましょう。

当日参拝出来ない方は、大黒様をお寺にお早めにお預り下さい。

## 大黒様は大切に！

### 新規大黒様のお申込み

新たに枳入りの大黒天をご希望の方は、事務所前に飾って見本をご覧になり、お早めにお申込み下さい。

- 一升枳(手彫り)・・・六万円
  - 五合枳(手彫り)・・・五万円
  - 一升枳(機械彫り)・・・三万五千元
- 《いずれも 分割可能》
- 【開眼・ご幣代が含まれます】

### 教宣部員の募集！

檀信徒の皆様の中で、蓮華寺、御先祖・自分のご信仰の為に活動をご希望の方は『教宣部』に入部して下さい。

年間行事の奉仕の他に「交流会・喜寿を祝う会」などの親睦会も行っています。  
老若男女を問いませんので、どしどしお申込み下さい。

## 十一月の行事

一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・お守りは、お勤めに参拝してお経・お題目を唱え感謝の心を込めて戴くようにしましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



三 日(金) 妙見小祭 朝のお勤め中

十三日(月) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・檀信徒の皆様は日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十六日(木) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

二十五日(土) 檀信徒研修会(唱題行) 午後七時より

### ☆奉仕のお知らせ

◎今月は奉仕活動を行います行事はありません。  
どうか毎月の『盛運祈願会』『十三日のお勤め』『檀信徒研修会』に積極的に参加して下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

### ☆『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

◎『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようお願い致します。

◎『十三日のお勤め』のお経練習用に「カセットテープ・CD・お経本」を販売しています。

## 大切なお題目受持

# 大黒祭

十二月三日 (日)

昼十二時半より



(大黒様の行水・祈願・福引あり)

※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。

※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族  
ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。

※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。

※新たに柵入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早めに  
事務所までお申込み下さい。